

# 初春のお慶びを 申し上げます



新年明けましておめでとうございます。町民のみなさまには、平成22年の新春をすこやかに迎えられる心からお慶び申し上げます。

一方、ガソリン税の暫定税率維持や子ども手当の所得制限など大幅修正も余儀なくされています。

「ローマは一日してならず」永年にわた

お願い申し上げます。一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

須恵町議会議長 藤石 豊

# 謹賀新年 年頭あいさつ



明けましておめでとうございます。昨年は、百年に一度と言われる経済不況の中、米国大統領のチェンジに始まり、日本では戦後初めての「政権交代」と、不満から不安を選択した一年であったように思われます。総選挙では、マニフェストが政府と国民との契約であるとされ、実行か棚上げか臨時国会の論戦となりましたが、自民党も民営化による小さな政府を訴えながら実質的には地方の切り捨て、民主党も地域主権を旗印にしているものの、郵政を国営化に戻し、中央集権化を目指す方向に進んでいるように思われます。

特に、「コンクリートから人へ」の名のもと、八ッ場ダムや川辺川ダムの建設中止これからの利水・治水のあり方に問題提起をしたことは理解できるとしても、そこに住んでいる住民（人）がいることへの配慮が十分ではなかったように思われます。今、平成の大合併により、地方は限界集落となったところも多く、自然を守る人が住まなくなり自然が守れなく崩壊していくそのことが地球温暖化を招き、異常気象によって自然災害や都市型災害を引き起こしている要因の一つであろうと思われま

決し「安心」といったところであり。主な事業内容としては、緊急災害時の防災センター建設やコミュニティバスの購入、新交通広場（仮称）コミュニティバス停留所、スマートICまでの連結道路を県道として建設するなど、お陰で懸案のインフラ整備ができる結果となりました。また、冷え切った地方財政状況の中、町民のみなさんの我慢とご支援により、めでたく「全国優良町村」の受賞の栄誉を受けることができました。これは、首長の任期が2期以上で、職員の給料が国家公務員に比して95%以下、税金の徴収率が98%以上町の財政力の弾力性を示す経常収支比率が91%台以下、非常に高いハードルをクリアしなければいけない条件があります。受賞にあたっては、町民のみなさんのご理解と議会のご協力、職員の努力によることと、心から深く感謝を申し上げます。平成22年度の目玉事業としては、待機児童の解消や子ども教育の充実を目指し、老朽化している東幼稚園とかやの保育所を一元化し、「第二認定子ども園」建設を計画いたしております。21世紀は教育の世紀と言われており、コミュニティを中心に教育のための社会づくりにまい進する覚悟であります。平成22年が町民みなさまにとって、安心安全で平安な年になりますよう祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

須恵町長 中嶋 裕史